

①②の俳句を五・七・五に分けて、バラバラにしました。①②の意味に合うように組み合わせ、()に俳句を書きましよう。

一羽かな

桐一葉

日当たりながら

つぶてのごとき

秋空に

落ちにけり

「つぶて」は投げる小石のことだね。



① 桐の葉が一まい、秋の日の光に照らされながら落ちた。

② 秋の高い青空に、すっと小石を投げたように、ただ一羽の鳥が飛んでいくなあ。

おまけクイズ

()のヒントを見て答えを漢字にして□に書きましよう。

① みきくけい

(か行の何が何い?)

② いむ

(五十音表一文字後ろ)

③ しりくまじり

(「し」「と」「けい」)

④ すかいず

(五十音表一文字前)

②①④⑥の()に当てはまる言葉をから選んで書きましよう。

① サッカーの試合で、ゴールを決めたリクは()だ。

② ミオは作文を書きたいのに、なかなか文が()。

③ テストの点数が悪かったきんたは()いた。

④ レンは飛び出してきたネコを()よけた。

⑤ クッキーをつまみ焼けたかりんは()ほほえんだ。

⑥ 実験に失敗したはかせは、理由がわからず()。

とっさに・うれしそうに・とくい顔首をひねった・まとまらない・うなだれて

